

宮前区のミライづくりプロジェクト「ネット質問フォーム」

御質問に対する本市の見解について

1 概要

鷺沼駅周辺では、現在、再開発準備組合による事業計画の検討が進められており、川崎市では、再開発の機会を捉えて、宮前区全体の将来を見据えた取組を推進するため、平成 31（2019）年 3 月に「鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針」を策定しました。

この方針に基づく取組を「宮前区のミライづくりプロジェクト」と名付け、「新宮前市民館・図書館・区役所の移転・整備」、「現在の区役所などの施設や用地の活用」、「向丘出張所の機能のあり方」、「駅へのアクセス向上」等について、検討を進めています。

この度、「宮前区のミライづくりプロジェクト オープンハウス型説明会」を開催するとともに、本プロジェクトへの御質問をいただく機会として「ネット質問フォーム」を設置しました。設置期間中にいただきました **17 通 30 件**の御質問について、質問の要旨とそれに対する市の考え方を次のとおり公表します。

2 「ネット質問フォーム」の概要

設置期間	令和 5（2023）年 2 月 14 日（火）～3 月 31 日（金）
質問の提出方法	ホームページの質問フォーム又は F A X
募集の周知方法	・ 本市ホームページ ・ 宮前区のミライづくりプロジェクトニュース第 4 号（2 月発行）
回答の公表方法	・ 本市ホームページ（令和 5（2023）年 4 月時点）

3 質問の件数と内訳

項 目	件数
(1) 宮前区のミライづくりプロジェクトについて	6
(2) 新宮前区役所・市民館・図書館の整備に向けた取組について	6
(3) 現区役所等施設・用地の活用に向けた取組について	3
(4) 再開発事業に関する取組について	11
(5) その他	4
合 計	30

※ 1 通の質問フォームの中に複数の御質問が含まれていた場合は、項目に合わせて分割・整理するとともに、長文の御質問は必要に応じて要約しています。

4 御質問に対する市の考え方

(1) 宮前区のミライづくりプロジェクト全般について

番号	質問の要旨	本市の見解
1	<p>鷺沼駅前で配られていたニュースレターを見て仰天した。以前、市民からの要望書を受けて高層マンションは再考する話になっていたはずだが、そのまま高層ビル計画が載っている。高層ビル、大ホールの建設計画を見直せないのか。</p> <p>鷺沼は住のまちで子どもも多く、文教面の拡充はなされるべきだが、商業的な集約や施設はこれ以上は必要ない。また、駅周辺は通学路で、学校敷地や体育館は非常に狭く、学年の学習発表会さえ充分にできない。ホールを建てれば済む話ではなく、ホールを維持管理する費用について、川崎市は無計画ではないか。</p> <p>商業施設は隣のたまプラーザや青葉台、二子玉川で充分であり、同じ様なものを隣接駅に作って、やっていけると思っているのか。計画を見直さずに、突っ走る姿勢に住民無視を感じる。</p> <p>青葉台駅改装に長い年月がかかり、当時は不便極まりなかった。青葉台のホールも大した活用もできていない。大ホールは絶対に無駄であり、何を意見しても無駄なのだろうが、タワマンも無駄である。川崎市は東急のいいなりなのか。</p>	<p>鷺沼駅前地区再開発準備組合（以下「準備組合」）による再開発事業の検証については、新型コロナを契機とし、開放や職住など、5つの検証視点に基づき、多くの市民が利用する低層部について、施設計画や機能の検証が行われたものであり、高層部については変更しておりません。また、今回の検証は、平成31（2019）年3月に策定した「鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針（以下「基本方針」）」を踏まえて検討が行われており、引き続き、基本方針に基づく取組を推進し、宮前区全体の活性化を促す「核」としての地域生活拠点の形成を図っていきたいと考えていますので、ホールを含めた公共機能の移転整備に関して見直しは考えておりません。</p> <p>新しい商業施設について、準備組合からは、現在のフレール鷺沼の床面積とほぼ同等の面積を確保するとともに、地元の方々からの御意見等を踏まえて、地域生活拠点としての機能を担えるように具体的な店舗やサービスの検討を深度化していくものと伺っています。</p> <p>市民館のホールについては、市民の多様な生涯学習に応える役割を担い、多様な演目が可能な多目的ホールとして設置し、学びや発表活動の場として多くの方々にご利用いただいています。鷺沼駅への移転・整備にあたっては、これまでホールを利用されている方々の活動機会を確保できるよう、ホールの設置に向けた検討を進めていきます。</p>
2	<p>超高層ビルができてから火事や大地震等の災害が起こった場合に、現在の宮前区の消防体制で対処ができるのか、余分な税金が使われるのではないかと心配している。区役所移転により現在の鷺沼地区の住環境が悪化することだけはやめてほしい。</p>	<p>震災・災害発生時には、区役所・消防署・警察署の各機関が、立地の遠近にかかわらず、地域防災計画や各機関の本部の方針に基づき、相互に連携を図りながら、組織ごとの指揮系統により、役割に応じた災害対策を実施しますので、移転後も災害対応力が十分に発揮できるように、今後具体的な対応について、検討していきます。</p> <p>なお、消防・警察との連携については、宮前区役所を中心に、両機関と連携した災害対策本部設置訓練や区総合防災訓練を実施しており、こうした取組を積み重ねることにより、引き続き、実践的な地域防災力の向上を図っていきます。</p>

3	<p>現在の宮前区役所、図書館の機能を残す方向で進めてほしい。</p> <p>近辺住民にとっては憩いの広場でもあり、子どもたちの居場所にもなっている。区役所、図書館、市民館のホールもなくなってしまうととても困る。</p>	<p>本市では、様々な市民意見やコスト面も含めた基礎調査結果等の諸条件、そして宮前区の将来展望を総合的に整理・検討し、平成 31（2019）年 3 月に基本方針を策定しており、民間事業者による再開発によって交通結節機能をはじめ、都市としての機能が向上する鷺沼駅周辺に、宮前区役所、市民館、図書館を移転・整備し、宮前区全体の活性化を促す「核」としての地域生活拠点の形成を図ることとしました。</p> <p>なお、現宮前区役所等の施設・用地の活用については、宮前区全体と周辺エリアの将来を見据え、引き続き市民の皆さまからの御意見を伺いつつ、令和 7（2025）年度の活用基本方針の策定に向けて、地域課題や行政需要、地域ニーズ等の調和を勘案しながら、検討を進めていきます。</p>
4	<p>なぜ公共機能が鷺沼に移転するのかよく分からない。東急に都合良く利用されているのではないか。狭い地域に高層施設を建てることに将来展望も無い。最初から決まっていたのではないか。</p>	<p>鷺沼駅周辺地区は、本市総合計画において、「地域生活拠点」の一つとして位置づけられています。当地区は、昭和 40 年代に東急田園都市線の延伸を契機として市街化が進んで以来、大きな施設・機能の更新等がないまま 40～50 年が経過しており、特に駅前は、駐車場等の低未利用地が点在し、土地の高度利用が図られていない状況にあります。</p> <p>また、鷺沼駅前には、周辺部の住宅地開発による人口増加や、山坂が多いなどの地形上の特性から路線バスによる駅へのアクセスが多く、バス交通の需要増への対応が求められています。</p> <p>こうした状況の中、平成 29（2017）年 8 月に準備組合が設立されるなど、事業化に向けた機運の高まりを契機とし、宮前区全体の将来を見据えた取組を推進するため、平成 30（2018）年 2 月に「鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の検討に関する考え方」を公表し、関係団体等への説明・ヒアリングやまちづくりフォーラムなど、多角的な区民意見の把握に取り組み、さらに、平成 31（2019）年 3 月に基本方針を策定し、民間事業者による再開発によって交通結節機能をはじめ、都市としての機能が向上する鷺沼駅周辺に、宮前区役所、市民館、図書館を移転・整備し、宮前区全体の活性化を促す「核」としての地域生活拠点の形成を図ることとしました。</p>
5	<p>現区役所から徒歩圏内の住民にとっては、新区役所・図書館へのアクセスは不</p>	<p>鷺沼駅前再開発では、路線バスネットワークの充実により、宮前区全体の発展に資する鷺沼駅へのアクセス性</p>

	便になるケースが多いと思うが、これらの住民への対応はどの様に考えているのか。	向上効果等を活かし、将来を見据えたコンパクトなまちづくりを推進するため、区役所・市民館・図書館を一体的に移転・整備し、宮前区の核となる地域生活拠点の形成を図っていきます。 なお、具体的なバス路線の検討については、今後、交通広場の供用開始時期を見据え、バス事業者との協議・調整を推進していきます。
6	現在の様に区役所、保健所、警察署、消防署が同一地域にまとまって存在することは、常に同時に利用することはなくとも、メリットになっていると思う。分離することによるデメリットはないのか。	公共機能の移転に伴い、区役所、消防署、警察署が隣接している状況ではなくなりますが、鷺沼（区役所）、宮前平（消防署・警察署）の2拠点体制として被災リスクを分散し、それぞれが連携・協力することで、新たに回復力（レジリエンス）と多重性（リダンダンシー）を確保できるものと考えています。 なお、震災・災害発生時には、区役所・消防署・警察署の各機関が、立地の遠近に関わらず、地域防災計画や各機関の本部の方針に基づき、相互に連携を図りながら、組織ごとの指揮系統により、役割に応じた災害対策を実施しますので、移転後も災害対応力が十分に発揮できるよう、具体的な対応について、検討していきます。

（２）新宮前区役所・市民館・図書館の整備に向けた取組について

番号	質問の要旨	本市の見解
1	指定管理者制度は、あちこちで破綻しており、劇場法などでの支援が得られる独自規格や運営は、指定管理制度では実現不可能である。	指定管理者制度については、「市民館・図書館の管理・運営の考え方」により、市民館・図書館の管理・運営の方向性を示しており、多様なニーズへの対応やサービスの充実に向け、民間事業者の発想や工夫、またノウハウ及びマンパワーを有効に活用し、事業サービスをさらに進めていくため、これまでの本市が培ってきた知識や経験の継続や、公共性に配慮した上で導入していきます。
2	市民館の市民ギャラリーは移転後も整備してもらえるのか。	令和2（2020）年8月に策定しました「新しい宮前市民館・図書館基本計画」に基づき、利用率の状況等を踏まえた、共用スペースの活用等により、ギャラリースペースの設置に向けた検討を進めていきます。
3	鷺沼駅周辺の再開発事業で、最も懸念していることは区役所の窓口混雑が予想されることである。区役所の窓口混雑解消のために、現在、駅北側にある「鷺沼行政サービスコーナー」を区役所移転後	鷺沼行政サービスコーナーについては、当面、継続していきます。また、現在のところ新たな行政サービスコーナーの設置の予定はありませんが、令和7（2025）年度に予定している市全体の証明発行体制のあり方に関する方針等も踏まえながら、令和12（2030）

	<p>も存続してほしい。また、区内の駅（宮前平駅・宮崎台駅）近くに同様の「行政サービスコーナー」を新たに設置してほしい。</p>	<p>～14（2032）年度を予定している宮前区役所の鷺沼駅周辺への移転に向けた取組とあわせて、検討を進めていきます。</p> <p>また、市民サービスの提供と利便性の向上を目指して、デジタル化等の状況を踏まえた今後の区役所サービス向上の取組について、検討を進めていきます。</p>
4	<p>新宮前市民館のホールを大ホールと小ホールの2ホール構成とすることになっているが、大ホールの規模が現在よりも縮小されることになっている。これではオーケストラの演奏が困難になると思うが、今後、宮前区でのオーケストラコンサートはどこで開催されるのか。</p> <p>市民オーケストラ「宮前フィルハーモニー」は設立から約30年にわたり、地域に根差した活動を行っているが、こうした市民活動の場所を今後どのように確保していこうと考えているのか。現在の市民館大ホールを残して欲しいと考えているが、残す方向での考えはあるか。</p>	<p>市民館のホールについては、市民の多様な生涯学習に応える役割を担い、多様な演目が可能な多目的ホールとして設置し、学びや発表活動の場として多くの方々にご利用いただいています。宮前市民館・図書館は鷺沼駅周辺に移転・整備しますので、市民館の大ホールを残す考えはございませんが、鷺沼駅周辺への移転・整備にあたっては、これまでホールを利用されている方々の活動機会を確保できるよう、ホールの設置に向けた検討を進めていきます。</p>
5	<p>要望として、現在の宮前図書館の閲覧室を残してほしい。</p> <p>自宅付近に工場があるので、宮前図書館が開館した頃から閲覧室を利用している。閲覧室は静かな環境だけでなく、周りの利用者の頑張る姿を見て集中を高められる。試験や受験の体験記でも合格者は図書館を活用していた。第2次ベビーブーム世代の受験期には、夏休みの朝の閲覧室の抽選倍率は最大2倍位だったので、抽選に当たった時、図書館の有難さを最も実感できたし、抽選に参加すること自体がやる気の維持になった。</p> <p>一般の人にも閲覧室は重要である。昔と違い、現在は神奈川県内の図書館の横断検索で国会図書館並みの資料を読む。昭和の高津・多摩・中原図書館は、扇風機が天井にあるだけで冷房もなく、本も読みたい本はなかった。あの時代を</p>	<p>現在の宮前市民館・図書館は鷺沼駅周辺に移転・整備するため、現在の宮前図書館の閲覧席を残す考えはございませんが、新しい市民館・図書館については、令和2（2020）年8月に策定しました「新しい宮前市民館・図書館基本計画」に基づき、閲覧スペースのニーズが高いこと、今後の利用者の増が見込まれる等の状況から、スペースの拡充、他の諸室との共用化等の工夫をしながら、設置に向けた検討を進めていきます。</p> <p>なお、現宮前区役所等の施設・用地の活用については、宮前区全体と周辺エリアの将来を見据え、引き続き市民の皆さまからの御意見を伺いつつ、令和7（2025）年度の活用基本方針の策定に向けて、地域課題や行政需要、地域ニーズ等の調和を勘案しながら、検討を進めていきます。</p>

	<p>思い出すと、今の図書館の力がいかに大きいか改めて実感できる。ときには、一般閲覧者から、受験生のための席がないと苦情があったと思う。今後は、積極的に「学習ルーム」として受験等のために若い世代に開放・宣伝してもよいのではないか。若い世代が、人生で一番知識を吸収できるときに最高の環境で学習でき、社会人になって発明や仕事に活かされれば、少子化の危機的状況において、若い世代が将来、私たちを救ってくれることにもなる。</p>	
6	<p>図書館では、棚に並んでいる図書を見て新たなジャンルに気づき、読書の範囲を広げることも多く、ネット予約の受取り・返却機能だけを現在地に残すだけでは不十分である。鷺沼へのアクセスは、現状より不便になるので、鷺沼に図書館を新設したとしても、現在の図書館を同規模・同機能以上として存続することはできないか。川崎市は人口約 150 万人に対して図書館は分館、閲覧所を含めても 13 館しかなく人口当たりの館数は全国的に見ても最低レベルなので、この際、増設することはできないか。</p>	<p>本市では、各区の図書館及び分館を拠点として市民サービスを展開しており、新たに図書館を整備する計画はございませんが、学校図書館開放など学校施設の有効活用、自動車文庫による市内巡回や大学図書館との相互連携などによる図書館サービスの充実に努めるとともに、電子書籍等 ICT を活用した施策を進め、引き続き、市民の主体的な学びや活動を支援していきます。</p>

(3) 現区役所等施設・用地の活用に向けた取組について

番号	質問の要旨	本市の見解
1	<p>鷺沼移転の時期が約 2 年程度後ろ倒しになったことに連動して、現区役所等施設・用地の活用のための検討開始も後ろ倒しとなったが、なぜ予定通り検討開始できないのか。</p> <p>現区役所等施設・用地の活用検討を早く始めることで、まとめた方向性と情勢の間のミスマッチが生じる可能性が高まるという説明があったが、一方で、時間切れで十分な議論ができないまま着工を迎えるの方がリスクが高いと思う。</p>	<p>活用基本計画の策定期間については、再開発計画の検証結果を踏まえ、令和 7 (2025) 年度の予定としたところですが、検討については既に開始しており、関係団体等へのヒアリングや区民意識アンケートを実施するなど、取組を進めているところです。</p> <p>今後は、引き続き関係団体等へのヒアリングを実施するとともに、これまでにいただいた御意見を踏まえ、市民ワークショップを実施し、令和 6 年度に基本的な考え方を策定するなど、市民参加による検討をより丁寧に進めていきます。</p>

	<p>一度検討を開始して、どのような方向性になるのかを見定めた上で検討スピードを調整するなど、やり方はあると思う。</p> <p>移転か修繕かの方針を一年間という短期間で決めることになった結果、市民からは多くのわだかまりが噴出したことは記憶に鮮明である。同じことにならないためにも、また現区役所等施設・用地の有効活用の議論を前向きな雰囲気を進めていくためにも、検討に着手することを検討してほしい。</p>	
2	<p>現在の宮前区役所と宮前図書館の間にある広場では、よく女の子が集合場所にしたり、遊んだりしているので、広場として残してほしい。</p> <p>公園は、ボールなどで遊んでいる男の子が多く、公園で遊ぶのは難しい。</p>	<p>現宮前区役所等の施設・用地の活用については、宮前区全体と周辺エリアの将来を見据え、引き続き市民の皆さまからの御意見を伺いつつ、令和7（2025）年度の活用基本方針の策定に向けて、地域課題や行政需要、地域ニーズ等の調和を勘案しながら、検討を進めていきます。</p>
3	<p>区役所・市民館の跡地がどうなるのか。跡地利用の方向性は、いつ、誰が、どのような情報調査をして決定するのか。</p> <p>宮前平地域で、近隣住民に愛されて有効活用されている施設を、機能として無くさずに残して欲しい。高齢者にとって、宮前平地域にある市民館は、菅生分館・向ヶ丘出張所では立地的・施設的にも代用できないと思う。</p>	<p>現宮前区役所等施設・用地の活用については、本市が、関係団体等へのヒアリングやワークショップなど、多様な意見聴取を実施しながら、令和7（2025）年度に策定を予定している活用基本方針において、活用コンセプトや導入機能のイメージ、今後の取組等の取りまとめをお示しする予定です。</p> <p>引き続き、「市による施設・用地の保有」、「宮前区全体と周辺エリアの将来を見据えた課題やニーズの整理」、「市民参加による検討」の3つの考え方を基本として検討を進めていきます。</p>

（4）再開発事業に関する取組について

番号	質問の要旨	本市の見解
1	<p>再検証後の完成パースを見たが、バスロータリーの場所が変わっておらず、心配している。</p> <p>商業施設前の道路に路上駐車も増えるだろうし、駅に着くまでに今以上に時間がかかると非常に困る。</p> <p>有馬から坂を上った所にバス停は作れないのか。</p>	<p>交通広場は、計画建物の1階部分に入る予定となっており、鉄道とバスの乗換時に雨に濡れずにスムーズに移動できるよう計画されているとともに、建物と複合化することにより現在の約2倍の面積に拡充し、交通結節点機能の強化が図られています。</p> <p>また、現在の計画では駅前街区南側に「鷺沼駅南口駅前広場」が整備され、一般車の乗降場を設ける予定となっています。</p>

		<p>地域交通については、再開発事業に併せて、鷺沼線の廃止による交差点の集約や周辺道路への右左折レーンの設置などによる交通流の改善、交通広場の拡充及び路線バスネットワークの充実による公共交通機関の利用促進を図ることで、交通渋滞の緩和が図れるものと考えています。</p> <p>なお、現時点でバス停の新設の予定はありませんが、具体的なバス路線の検討については、今後、交通広場の供用開始時期を見据え、バス事業者との協議・調整を推進していきます。</p>
2	<p>駅前開発後、市道尻手黒川線と国道246号に出入りするルートはバス、タクシー、一般車が相当混雑するのではないか。信号の待機時間が長くなるのではないか。国道246号に出入りするの、今の計画では鷺沼2丁目を通るルートと鷺沼駅一梶ヶ谷駅間のバスルートのみである。対応を検討してほしい。国道246号の旧道は上りしか入れない。</p>	<p>地域交通については、再開発事業に併せて、鷺沼線の廃止による交差点の集約や周辺道路への右左折レーンの設置などによる交通流の改善、交通広場の拡充及び路線バスネットワークの充実による公共交通機関の利用促進を図ることで、交通渋滞の緩和が図れるものと考えています。</p> <p>交通量の変化等については、令和4（2022）年・準備組合により公表された環境アセスメント条例準備書（以下「準備書」）において、施設関連車両による交差点需要率は、交通量の処理可能とされる需要率0.9を下回ると予測されているとともに、施設関連車両が走行する各交差点の断面における車線の混雑度は、全ての断面で交通量処理が可能とされる1.0を下回ると予測されており、環境保全のための措置等を講じることにより、沿道の生活環境の保全に支障はないものと評価されています。</p> <p>なお、施設関連車両の走行ルートについては、令和元（2019）年8月に準備組合より公表された環境影響評価条例方法書において設定された、環境影響評価審議会にて審議された上で、予測評価に反映されています。</p> <p>再開発事業による交通量や走行ルートの詳細な予測評価に関しては同準備書をご確認ください。</p>
3	<p>鷺沼駅周辺は、現状でも交通渋滞が発生している。再開発に伴い鷺沼駅とフレル鷺沼の間の道路を廃止し、駅周辺の信号の調整により、現状よりスムーズに通行できるように計画しているようだが、新たな施設ができれば現状以上に交通量が増加し、これまで以上の渋滞が発生する可能性があり、徒歩圏内の住民以外は、現状より利用が不便になることが懸念される。再開発後の交通量の予想は、現区役所周辺・現鷺沼駅周辺と比較してどの様に変更すると見込んでいるのか。田園都市線南北の交通量変動はどのように予測しているのか。</p>	<p>再開発事業による交通量や走行ルートの詳細な予測評価に関しては同準備書をご確認ください。</p>
4	<p>事業スケジュールの遅れの原因に、一部の方の反対意見があると思う。賛成している市民も多くいるので、これ以上遅れることのないよう、スムーズに事業を進めてほしい。</p>	<p>再開発事業の検証にあたり、準備組合においては、ニューノーマルを見据えた都市のあり方の検討等の国の動向も注視しながら検討が行われ、ステップテラスの計画やホールの位置を線路側から市街地側に移す変更をされており、施設計画においては大きな見直しであったことから、2年間という検討期間を要したものと伺っていま</p>

		<p>す。</p> <p>市としては、今回の検証結果は、本市が宮前区の地域生活拠点としてのまちづくりを進める上で重点を置いてきた、交通結節機能の強化や多様な都市機能の集積を進めつつ、新たな生活ニーズにも対応する計画であると受け止めていますので、今後は、再開発事業の早期着手及び早期効果発現に向けて、着実に取組を推進していきたいと考えています。</p>
5	<p>鷺沼駅の北側にも顔出しをしてほしい。</p>	<p>鷺沼駅及び駅北側については、再開発事業区域に含まれていませんが、準備組合からも「駅・駅前広場・周辺市街地を一体的に捉えた魅力的な駅まち空間の実現」や「線路を挟んだ南北のまちの一体感の醸成」等に向けて、関係者との調整等を行う旨が示されています。</p> <p>引き続き、今回の再開発事業の効果が最大限に発現されるよう、準備組合や鉄道事業者とも調整を行いながら、取組を推進していきます。</p>
6	<p>子育てし易くなることを期待している。</p>	<p>本事業では、『鷺沼の新しい顔として駅・生活機能・地域をつなぐ広場・交流機能を目指すこと』や『「駅前に住む」「駅前で働く」「一日過ごす」など、住む人も訪れる人も楽しく、快適な魅力あるライフスタイルを目指すこと』などを開発コンセプトとして掲げ、商業や業務と併せて子育て支援機能等の都市機能の導入や多世代が交流し、多様なコミュニティ形成に寄与する広場・交流機能の整備等が準備組合により計画されています。</p> <p>再開発事業によるこれら開発コンセプトの実現に向けて、引き続き、準備組合と協議・調整を行っていきます。</p>
7	<p>保育施設を3つ、小中学校をもう1つずつ整備してから再開発の話をするべきである。小中学校は増やさないのか。</p>	<p>令和4（2022）年12月に準備組合により公表された準備書において、学校をはじめとしたコミュニティ施設等の環境配慮項目に関する予測結果が示され、鷺沼小学校は4教室分、宮前平中学校は、1教室分の対応が必要であると予測されていますが、準備組合にて、計画戸数、供用時期等の事業計画が確定次第、速やかに市に報告するとともに、入居世帯における、児童及び生徒数の増加に関連する状況について、入居開始前までに市に報告するなど、環境保全のための措置を講じることで計画地周辺地域の生活環境の保全に支障はないものと評価されています。</p> <p>将来の児童生徒数につきましては、周辺の開発や転出</p>

		<p>入の動向、社会経済状況や出生率の変化等により、変動していくものと考えています。今後も、こうした変化を適宜、児童生徒数の推計に反映させ、教室不足が生じることがないように、学校とも調整を行いながら、教室の転用や増築など、必要に応じて対応を図ることで良好な教育環境の確保に努めていきます。</p> <p>なお、鷺沼駅前再開発の具体的な導入機能について、準備組合により検討が進められており、子育て支援機能の導入を予定しているものと伺っています。</p>
8	<p>北街区の道路側に JA などの銀行があるが、工事期間中はどこかに移動して営業するのか教えてほしい。</p>	<p>再開発事業は段階的な施工が検討されており、駅前街区が竣工するまでは銀行などの北街区の既存施設は営業を継続し、竣工後に解体工事に着手する予定です。</p> <p>準備組合からは、解体工事後の移転等の予定について、現時点では示されておりませんが、新しい商業施設については、地元の方々からの御意見等を踏まえて、地域生活拠点としての機能を担えるように具体的な店舗やサービスの検討を深度化していくものと伺っています。</p>
9	<p>田園都市線開通時より、鷺沼地区に住んでおり、鷺沼駅周辺の再開発事業で、長い間親しんできた駅前の面影が失われることは大変に悲しい。最も懸念していることは駅前の自動車交通の混雑が予想されることである。以前も夕方や週末に駅前の渋滞がひどい時期があったが、信号機の調整により現在はほぼ解消している。新しいバスターミナルができて、バスの発着本数も増加するのであれば、一般車両を流入させると周辺道路の大渋滞は必至で、バスの運行時刻の順守は困難になる。また、鷺沼地区の快適な住環境も悪化しかねない。駅前の一般車両の流入を禁止し、駅から離れた場所に大型駐車場を整備する必要がある。</p>	<p>鷺沼駅周辺地区は、本市総合計画において、「地域生活拠点」の一つとして、「民間活力を活かした駅前広場の再整備等による、鷺沼駅周辺を中心に商業、都市型住宅、文化・交流など多様な都市機能の集積及び交通結節機能の強化に向けた取組を推進する」ことが位置付けられており、少子高齢化、建物の老朽化を見据え、合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図るため、商業や業務、公共機能などとともに、都市型住宅の整備を含めた市街地再開発事業を推進することにより、利便性が高い誰もが暮らしやすいまちづくりを目指して取り組んでいます。</p> <p>地域交通については、再開発事業に併せて、鷺沼線の廃止による交差点の集約や周辺道路への右左折レーンの設置などによる交通流の改善、交通広場の拡充及び路線バスネットワークの充実による公共交通機関の利用促進を図ることで、交通渋滞の緩和が図れるものと考えています。</p> <p>また、現在の計画では駅前街区南側に「鷺沼駅南口駅前広場」が整備され、一般車の乗降場が整備されるとともに、一般車の駐車場については、計画建物の地下部分に配置され、「川崎市建築物における駐車施設の附置等に関する条例」などに基づき、適切な台数が確保される</p>

		<p>予定となっています。</p> <p>なお、交通広場の運用については、今後、交通管理者とも協議を行いながら、準備組合にて検討が深度化されることとなります。</p>
10	<p>駅前再開発の超高層ビル化により、高台で周囲に障害物のない駅周辺においてビル風の被害も心配である。</p>	<p>令和4（2022）年12月に準備組合により公表された準備書において、風害等に関する予測結果が示されており、防風植栽や防風壁の設置などの対策を講じることで、全ての調査地点において、住宅街や公園等の風環境評価尺度であるランク2以下に収まる結果となっており、総合的に地域の生活環境の保全に著しい支障はないものと評価されています。</p> <p>なお、風環境に影響が生じる場合については、関係法令等に基づき、適切に検討されるよう、指導していきます。</p>
11	<p>鷺沼の再開発計画では、田園都市線の北側及び駅前交番がある小台地区は対象外になっているが、これらの地域を除いた再開発は、駅周辺の再開発としては部分的で偏った開発になる可能性があり、将来的には町全体として不統一なまちづくりになる可能性がある。長い目で見ればこれらの地区を含めた再開発とすべきと思うが、現計画を一旦保留して見直すことはできないのか。あくまで現計画のままで取り進めるしかないのか。今回、一体的な区域として進めることが困難であれば、将来的にこれらの地区への展開も想定した計画とすることはできないか。</p>	<p>鷺沼駅周辺地区は、本市総合計画において、「地域生活拠点」の一つとして、「民間活力を活かした駅前広場の再整備等による、鷺沼駅周辺を中心に商業、都市型住宅、文化・交流など多様な都市機能の集積及び交通結節機能の強化に向けた取組を推進する」ことが位置付けられており、少子高齢化、建物の老朽化を見据え、合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図るため、商業や業務、公共機能などとともに、都市型住宅の整備を含めた市街地再開発事業を推進することにより、利便性が高い誰もが暮らしやすいまちづくりを目指して取り組んでいます。</p> <p>また、市街地再開発事業とは、「一体的に開発し、又は整備する必要がある土地の区域について定める」とされており、今回の再開発事業では、駅前街区と北街区の地権者で構成された準備組合による、組合施行としての事業が予定されています。これまで、準備組合による施行区域や施設計画の検討及び環境アセスメントや都市計画等の関係手続きが進められており、駅前交番がある街区が今後、編入される予定はありませんが、準備組合からは、駅・駅前広場・周辺市街地を一体的に捉えた魅力的な「駅まち空間」の実現に向けて、関係者と調整を行う旨が示されていますので、エリア全体の一体感の醸成や周辺地域への波及効果につながるよう、引き続き、準備組合と調整を図りながら取組を推進していきます。</p>

(5) その他

番号	質問の要旨	本市の見解
1	<p>再開発と共にタワーマンションが建設予定だが、人口が増え、鷺沼駅利用者が増える事により、駅の混雑や電車の混雑が予想されるが、どのように対応される予定なのか。武蔵小杉の例を見ると、駅前のタワーマンション建設により改札前に列ができる等、不便が発生しており、そのような事態は回避してほしい。</p>	<p>準備組合より、駅の混雑については、再開発によって大きな影響はないものの、新型コロナや働き方改革の推進などの影響に鑑みながら鉄道事業者と連携していくものと伺っています。</p> <p>また、鉄道や駅の混雑については、ホームドアの設置による利用者の安全性向上など、鉄道事業者により様々な取組が実施されているものと認識していますが、鉄道事業者に対しては、引き続き、取組の推進を働きかけていくとともに、今回の再開発事業の効果が最大限に発現されるよう、鉄道施設のあり方の検討についても要望していきます。</p>
2	<p>利便性が良くなり、鷺沼駅が新しく生まれ変わることに喜びを感じている。一方で高層マンションが出来ることによる、通勤ラッシュの悪化を危惧しており、その点についてどのように考えているのか、現時点の見解を教えてください。</p>	
3	<p>駅の混雑、殺人的な満員電車、それに乗って私立の小中学校へ通う子どもたちが、気の毒です。一番のネックは駅の混雑で、これ以上の混雑は御免である。駅の混雑対策はどうするのか。ニュースレターを見ても分からない。</p>	
4	<p>宮前区を文化の発信地としてほしい。宮前区は坂が多いために足腰が強くなり、全国で1、2を争う長寿の町として有名である。また、宮前市民館前の広場はEXILEが練習していた場所として話題になり、今は多くの若い人が練習している。ストリートダンスがパリオリンピックで正式競技となり、世界的に川崎・溝の口駅がダンスの聖地と言われているが、宮前市民館もその発祥地の一つと言える。文化の発信地となるためにも、閲覧室の存続をお願いしたい。なお、現図書館も図書貸し借り、予約など分館的な機能を残せば、閲覧室の有用性が維持できると思う。また、多摩図書館の地下の屋外ベンチの様に、雨の日でも昼食が食べれるスペースがあれば、受験生などにも便利だと思う。</p>	<p>「宮前区を文化の発信地」については、昨今はダンスやサッカーなど宮前区とつながりが深い文化が注目されています。引き続き、宮前区の文化的な魅力を向上させるように、関係局と連携しながら、活力と魅力にあふれたまちづくりを進めていきます。</p> <p>なお、閲覧室の存続や現宮前区役所等の施設・用地の活用については、本市の見解(2)－5をご確認ください。</p>